

# ほほえみ



- 号外 -

2025. 1. 4 発行

(医) 録三会 美濃加茂市 太田町 2825	
太田病院	TEL 0574-26-1251
クリニック	TEL 0574-26-2220
中部台ケアセンター	TEL 0574-23-1155
更紗	TEL 0574-23-1011
デイサービス 和	TEL 0574-24-0753
つるかめ訪問看護	TEL 0574-27-6535
居宅介護支援事業所	TEL 0574-23-0600
中部長寿支援センター	TEL 0574-49-8591



## ■理事長兼太田病院院長 佐々木 裕茂 (外科・内科)

新年あけましておめでとうございます。

患者様・ご利用者様・ご家族様におかれましては、新年を穏やかに、お迎えになられましたでしょうか。

昨年は、当法人の各医療・介護施設をご利用いただき、誠にありがとうございました。感謝しております。

強力ではないものの、感染力の強いコロナウイルスも消滅せず、インフルエンザも流行し、昨年からマイコプラズマ肺炎も大流行で、今年も各種感染症と「共存」という形で、日常生活から医療・介護までやっていかねばならず、一般の方も医療・介護従事者も大変だと思います。

また、ここ数年の内服・注射など医薬品不足が深刻で、患者様には大変ご迷惑をおかけしています。

今年も昨年からの「業務改善」を継続し、「患者様・御利用者様中心の医療・介護サービスの提供」を心がけ、地域に根差した信頼される法人を目指します。

ご不満などご意見がありましたら、改善します。どんどんお聞かせください。

どうか今年も1年間よろしく願いいたします。

## ■太田メディカルクリニック院長 尾下 英史 (整形外科)

新年明けましておめでとうございます。

去年は骨粗鬆症と転倒予防の観点から、様々な学会に参加し、多くの知見を得てきました。転倒は、骨折の最初の一步です。起きるときは一瞬、瞬く間に要介護状態や運動機能の急激な低下をきたすことから、近年“骨卒中”という単語が使われています。よってその予防が重要です。骨粗鬆症は、生活の改善やお薬の継続使用である程度は予防可能です。一方、転倒は予防できる転倒と予防できない転倒があるといわれます。予防できない転倒に対しては、転倒した時に骨折しない床材の研究が進んでおり、興味深いところです。今後の社会変化に対応すべく、これからも最新の情報を提供できるようにしてまいります。



新年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



## ■名誉副院長 佐々木 晃 (整形外科)

明けましてお目出度う御座居ます。

早いもので、昭和50年10月に当院へ着任以来、50年が、新幹線「のぞみ」号のような速度で過ぎ去りました。私はヨタヨタと「のぞみ」号に遅れをとりながらも親から授かった健康な体に感謝感謝で過ごすことができました。昨年、大学同窓会で半数が他界したことを知りショックを受けました。私は卒寿に向け、健康で元気に生きることが、今後の社会即ち地域の皆様への恩返しになると考えています。診療の中では患者様に満足していただくことを主に考えます。満足度は、私たち医療従事者が決めることではなく患者様が決めることであり、サービス業である以上当然と思います。今年は再度脳の活性化を図り、一年を大切にしながら毎日の仕事を考え、自分を鍛え、少しでも自分を変え、まず動き、苦しい道を努力して歩む。そして、社会人として礼儀節度をわきまえ、行動することを考え過ごすつもりです。今年も協力していただければ幸いです。

## ■副院長 井藤 孝 (内科)

新年明けましておめでとうございます。

健康保険証の新規発行が、今後廃止されることに伴い、昨年から徐々にマイナ保険証が使用されるようになってきました。最初は問題なく利用できるだろうかと不安はあると思いますが、医療の効率化などのメリットもありますので、うまく軌道に乗ってほしいなあと考えています。今年もよろしく願いいたします。



## ■診療統括部長 佐々木 智浩（整形外科）



新年明けましておめでとうございます。

本年も皆さまにとって健やかで実り多い年でありますよう  
祈念いたします。

令和 2 年初頭に始まった新型コロナウイルス感染症ですが、令和 5 年 5 月 8 日には 2 類相当から 5 類感染症に変更され、街ではほとんどの人々がマスクなしでの外出姿が見られるなど、世間も徐々に落ち着きを取り戻してきたように思われます。が、今冬も実はコロナ、インフル、ノロ、マイコプラズマなどの季節性感染症が猛威をふるっており、院内ではまだまだマスクを手放せない状況が続いています。

本年がどのような年になるのか見通すことは困難ですが、当院職員全体が感染症に対する対応に慣れてきたこともあり、今後も皆さまに安心・安全な医療を提供できるよう努力して参ります。

本年も整形外科で関節リウマチを中心に整形外科全般の治療を担当し、微力ながら地域の皆様の健康維持・増進をサポートさせていただきます。

本年も宜しくお願い致します。

## ■医長 渡邊 健太（整形外科）



新年あけましておめでとうございます。

この新たな年も、患者さまの健康と快適な生活を支えるため  
尽力してまいります。

私は整形外科医として当院で勤務を始めて 2 年目を迎えました。この 1 年、患者の皆様から多くのことを学ばせていただき、医師として少しずつ成長していることを実感しております。医療は日々進歩を続けており、その流れに遅れず対応しながら、患者の皆様安心して治療を受けていただけるよう、努力を重ねてまいります。

また、個人的には、生成 AI（人工知能）が医療分野にもたらす可能性を見据え、その活用について学びを深めていきたいと考えております。

本年もスタッフ一同、力を合わせて地域の皆様の健康を支えられるよう尽力してまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## ■大竹 かおり（内科）



新年あけましておめでとうございます。

年をとるとともに体を動かす機会が減り、運動不足になりがちです。気軽にできるウォーキングも、暑さや雨など天候に左右され、やむなく中断してしまうことも多いです。

ジム通いもなかなか続きません。

私は、昨年からは、ズンバ（ラテン系のエクササイズ）を始めたところ、思いのほか楽しく続けることができています。ユーチューブで、自分ができそうな簡単なものを選んで、自己流に動いているのですが、音楽にあわせて体を動かすことはストレス発散と充実感も得られ、気持ちもリフレッシュできます。

今年も続けられたらよいなと思います。

生活習慣病の改善は、食事療法とともに運動療法も効果的です。

併存疾患で思うように動けない場合もありますが、できる範囲で自分にあった運動療法をみつけられるといいですね。

## ■佐々木 恵美子（皮膚科・メディカルスキンケア）

あけましておめでとうございます。

あっという間に2025年となりました。

世の中の流れが速く、一つ一つ確実に、慌てず焦らずに、今年は無事過ごしていこうと思っています。

今年も健康で元気に過ごせるように、皆様のお手伝いができるとうれしいと思っています。



## あしがき

2025年は、巳年です。

脱皮をする蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。

植物に種子が育ち始める時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。

また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われるようです。

皆様の一年が、実りある素敵な毎日になりますように・・・

次回は、令和7年1月27日に発行予定です。

経営企画部